

Mizuho Daily Market Report

2022/11/16

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	139.35	139.28	▲0.61	▲6.40
EUR	1.0406	1.0349	+0.0022	+0.0275
AUD	0.6760	0.6756	+0.0004	+0.0249
SGD	1.3676	1.3707	▲0.0013	▲0.0280
CNY	7.0349	7.0455	▲0.0235	▲0.1855
MYR	4.5459	4.5335	▲0.0613	▲0.2023
THB	35.56	35.59	▲0.32	▲1.72
IDR	15537	15538	+20	▲160
PHP	57.23	57.23	▲0.07	▲1.05
INR	81.14	81.10	▲0.16	▲0.81

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.770%	▲8.4 bp	▲35.4 bp
日本(10年)	0.245%	+0.1 bp	▲0.7 bp
ユーロ圏(10年)	2.108%	▲3.9 bp	▲17.3 bp
オーストラリア(5年)	3.455%	+1.9 bp	▲24.5 bp
シンガポール(5年)	3.098%	▲7.5 bp	▲26.2 bp
中国(5年)	2.644%	▲1.4 bp	+16.0 bp
マレーシア(5年)	4.209%	▲4.9 bp	▲7.6 bp
タイ(5年)	2.357%	▲5.1 bp	▲28.1 bp
インドネシア(5年)	6.892%	▲4.3 bp	▲26.1 bp
フィリピン(5年)	7.026%	▲6.1 bp	+23.9 bp
インド(5年)	7.124%	▲5.4 bp	▲26.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,592.92	+0.2%	+1.3%
N225(日本)	27,990.17	+0.1%	+0.4%
STOXX50(ユーロ圏)	3,915.09	+0.7%	+4.7%
ASX(オーストラリア)	4,055.88	▲0.3%	+1.4%
FTSE(シンガポール)	3,275.28	+0.4%	+4.1%
SSEC(中国)	3,134.08	+1.6%	+2.3%
KLSE(マレーシア)	1,450.54	▲0.9%	+0.6%
SETI(タイ)	1,629.38	+0.4%	▲0.2%
JKSE(インドネシア)	7,035.500	+0.2%	▲0.2%
PSE(フィリピン)	6,418.94	+1.0%	+2.1%
SENSEX(インド)	61,872.99	+0.4%	+1.1%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	284.36	+0.8%	+0.1%
金	1,778.94	+0.4%	+3.9%
原油(WTI)	86.92	+1.2%	▲2.2%
銅	8,348.25	▲0.1%	+2.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	138.00	—	142.00
EUR/USD	1.0200	—	1.0400
AUD/USD	0.6500	—	0.6800
USD/SGD	1.3650	—	1.3900
USD/CNY	7.0000	—	7.1500
USD/MYR	4.5000	—	4.6000
USD/THB	35.40	—	36.00
USD/IDR	15480	—	15600
USD/PHP	57.00	—	58.00
USD/INR	80.50	—	82.00

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (2)	<	Bear (4)
USD/SGD	Bull (2)	<	Bear (4)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

昨日のドル円は140円台前半で取引を開始後、5・10日に伴う実需のドル買いから140円台半ばまで上昇。買い一巡後は上値重く推移し140円台前半まで値を戻したが午後にかけては、米長期金利が持ち直す動きを受けドル買いが優勢となり、140円台半ばまで再度上昇し海外時間へ渡った。アジア通貨はまちまち。アジア時間、ドル買いが優勢となる中、インドネシア・フィリピン・ペソなどは対ドルでやや軟調に推移したが、目立った方向感は見られず。インドネシアの10月貿易収支が発表され、市場予想を上回る貿易黒字となったが反応は限定的。海外時間、欧州時間入り際からドル売りが優勢となりドル円は反落。一時138円台後半まで下落した後、139円台まで値を戻して米州時間へ。米州時間朝方は11月NY連銀製造業景気指数が予想を上回ったものの、米10月PPIが予想を下回り、米利下げペース鈍化期待からドル売りが加速し137円台半ばまで下落。しかしドルの売られ過ぎ感からその後は139円台半ばまで値を戻した。米州時間午後に入るとロシアのミサイルがポーランドに落下し2人死亡とのヘッドラインを受け株安、債券高、原油高、ドル買い戻しが強まったが、ドル円はクロス円の売りに139円台前半まで下落。しかし米国防相が確認できていないと発表したことや、ポーランドのレポーターがウクライナ軍によって撃ち落とされたロシアのロケットの残骸である可能性が高いと伝えたことや、ロシア軍も「ウクライナとポーランドの国境近くの標的に対する攻撃は、ロシアの武器によるものではない」と発表したこともあり、急速にクロス円が買い戻される一方、ドルが売られる動きにドル円は138後半から139円台前半でもみ合いクローズ。

【金利】

昨日の米債利回りは低下。米州時間朝方の米10月PPIが市場予想を下回ると、再びインフレ指標鈍化を受けた利上げペース減速への思惑が広がり広い年限で金利低下。その後じりじりと金利上昇に転じるも、ロシア軍のミサイルがポーランド国内に着弾との報を受けてリスク回避の地合いとなるとベリゾーン中心に再び債券は買い優勢となりクローズ。

【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。先週の米10月CPIの結果発表以降、ドル売りが優勢となっていたが、昨日PPIの発表後には買戻しも見られており、徐々にドル売りも落ち着きつつあると感じられドル円も底堅く推移しよう。

【本日の予定】

(日本) 10月 全国百貨店売上高 / 東京地区百貨店売上高
(日本) 9月 コア機械受注
(日本) 9月 第3次産業活動指数
(アジア) 10月 NZ 非居住者 国債保有率
(アジア) 10月 中国 新築住宅価格
(アジア) 10月 豪 ウェストハック 景気先行指数
(アジア) 3Q 豪 賃金指数
(アジア) APEC関係会議(ハノイ)
(欧州) 10月 英 CPI / PPI / 小売物価指数
(欧州) 9月 キリシヤ 失業率
(欧州) 9月 愛 不動産価格
(欧州) 9月 英 住宅価格指数
(欧州) 独 国債入札(15Y)
(米国) 10月 小売売上高
(米国) 10月 輸入物価指数 / 輸出物価指数
(米国) 10月 鉱工業生産 / 設備稼働率 / 製造業
(米国) 11月 NAHB住宅市場指数
(米国) 9月 企業在庫
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) 国債入札(20Y)